

# 彩の国エコアップ宣言

- 環境負荷低減計画 -

平成 19年 6月 29日

## 1 事業活動の概要

### (1) 事業者名及び代表者名

藤倉ゴム工業株式会社  
大宮工場  
工場長 染谷 久雄

### (2) 所在地

〒331-0052 埼玉県さいたま市大宮区三橋1-840  
TEL 048-663-1361

### (3) 環境負荷低減主任者及びその連絡先

環境安全室 室長 佐々木 清  
〒331-0052 埼玉県さいたま市大宮区三橋1-840  
TEL 048-663-1869

### (4) 事業の内容

日本標準産業分類(細分類)	名称	ゴム製品製造業	番号	2	0	3	3
---------------	----	---------	----	---	---	---	---

### (5) 事業の規模

資本金 38億429万円  
売上高 2007年3月 連結：296億円 単体：220億円  
従業員 1,341人  
大宮工場

主な製品：工業用ゴム製品、制御機器

敷地：24,900m<sup>2</sup> 建物：17,300m<sup>2</sup> 従業員：289人

### (6) その他

- ・前年度の燃料等使用量の原油換算合計量 2,955 k l
- ・大規模小売店舗の場合 店舗面積                      m<sup>2</sup>

## 2 環境方針

### <基本理念>

藤倉ゴム工業株式会社は“技術・創造・いきいきコミュニケーションを大切にし、人々の安心を支え社会の豊かさに貢献します”の経営理念のもと“わたしたちはお客様と相互に技術力を高め合いながら、設計技術・複合化技術・加工技術により新たな可能性を引き出し、高機能製品を提供します”との事業理念を掲げています。その事業活動は大きく地球環境という恵みのもとに営むことができ、常にその大切さを認識し、事業活動を通じて自ら地球環境に対する負荷を軽減し、美しい環境を次世代に残すことに努力します。

<基本方針>

1. 全ての事業活動において環境負荷軽減活動を推進させるための環境マネジメントシステムを確立し、継続的に改善を行い、汚染の予防に努めます。
2. 環境負荷軽減の目標を計画し、実施状況を確認し、年度ごとに見直しを行います。
3. 環境関連の法律、条例、協定及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 環境方針は全従業員に周知し、環境保全への意識を高めます。
5. 環境方針を広く一般に開示します。

### 3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック(『取組チェック』)の結果

項目	CO <sub>2</sub> ・NOX	廃棄物	大気・水質	輸送	化学物質	節水・水
達成率(%)	67	57	73	40	90	33

項目	製品開発	建築・開発	グリーン購入	環境教育	エコビジネス	その他
達成率(%)	41		22	52	33	23

(2) 環境への負荷のチェック(『負荷チェック』)の結果

必須項目

廃棄物処分量は、廃棄物等発生量から減量化量と再資源化量を引いた値を記入してください。

項 目		1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度	1 8 年度
CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	5,109	5,079	5,241	5,216	5,156
原単位(従業員 当たり)	t-CO <sub>2</sub> / (人)	21.3	21.16	21.83	21.73	17.84
項 目		年度	年度	年度	年度	年度
CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub> /年					
原単位 ( 当たり)	t-CO <sub>2</sub> / ( )					
項 目		1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度	1 8 年度
廃棄物処分量	t/年	267	254	272	209	239
原単位 ( 当たり)	t/( )	1.1	1.1	1.1	0.77	0.83
項 目		年度	年度	年度	年度	年度
廃棄物処分量	t/年					
原単位 ( 当たり)	t/( )					

廃棄物処分量について、「自己排出分」と「受託処理分」がある場合は、両者の合計値を記入してください。

その他の項目(任意)

## 4 環境への負荷の低減目標

### (1) 地球温暖化対策

単位：t-CO<sub>2</sub>/年

・CO<sub>2</sub>総排出量 0.5%削減

2006年度実績	2007年度目標
5,156	4,898

・原単位（従業員当たり）0.5%改善

単位：t-CO<sub>2</sub>/（人）

2006年度実績	2007年度目標
17.84	16.95

### (2) 廃棄物最終処分量（廃プラ）の削減

単位：t/年

2006年度実績	2007年度目標
239	222

### (3) 環境負荷物質の削減

- ・全社で使用されている環境負荷物質のリストを作成する。
- ・MSDSの一元管理を実行するための前準備を行う。
- ・日本ゴム工業会、行政が主催する研修会、説明会への参加。
- ・社内勉強会の実施

## 5 具体的な取組の内容

省エネ（消灯の励行）

昼休みの消灯（蛍光灯）

CO<sub>2</sub>排出量の削減

冷房温度の管理（ガス式エアコン使用）

廃棄物のリサイクル化

RPF用に使えるよう軟質プラの分別を実施中

環境負荷物質の使用制限

鉛使用ゴム配合から鉛フリー配合へ転換（一部）

## 6 公表の方法

### (1) インターネットのホームページ

<http://www.fujikurarubber.com/>

### (2) お問い合わせ窓口 藤倉ゴム工業株式会社 大宮工場 環境安全室

TEL 048-663-1869

FAX 048-663-1360